

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	水晶体嚢・チン小帯障害群における水晶体の形態学的研究		
1. 研究の目的と方法	白内障手術は、患者のQuality of Vision(見え方の質)を上昇させることに貢献します。しかし近年、白内障手術により術後に眼内レンズ脱臼を生じ、侵襲の高い追加手術を要する症例が増加しています。その理由は、水晶体嚢もしくは水晶体を眼内で支持するチン小帯が脆弱化する水晶体嚢・チン小帯障害群の存在です。 本研究は、眼内レンズ脱臼手術もしくは白内障手術を受けた患者さんを対象に、水晶体・眼内レンズの術前、術中、術後の臨床形態および水晶体の病理組織学的所見と患者背景との関連を調査します。このことより、患者背景に適した初回白内障手術手技および眼内レンズ選択の一助になることを目的とします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	眼内レンズ脱臼もしくは白内障の患者さんで、2022年11月～2024年9月に東京慈恵会医科大学附属病院にて、眼内レンズ脱臼手術もしくは白内障手術を受けた18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	治療のために外科的に採取され、病理診断終了後の水晶体嚢および周囲組織の組織標本。	
	(2) 試料の取得の方法	手術の時に切除し、病理組織判定に使用する試料。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（眼科検査、病理検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 眼科学講座
		氏名	小松 功生士
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究を実施する機関とその責任者	<共同研究機関> 藤田医科大学 橋渡し研究統括本部 橋渡し研究シーズ探索センター バイオリソース室 特任教授 山本 直樹 慶應義塾大学 薬学部 薬学科 専任講師 中澤 洋介		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付、セキュリティのかかったクラウド上にアップロード…</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2023年10月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学附属病院 眼科</p> <p>研究責任者：小松 功生士（こまつ こおじ）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線：3581）</p> <p>対応時間：平日 9:00 ～ 17:00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。